

第 4 回 新型コロナウイルス感染症対策  
調査特別委員会資料

3 医療・福祉・警察等の対応

調査・検討

(4) 防災（避難所）

(防災・危機管理部)

令和 4 年 8 月 3 0 日（火）

## 1 現状・課題

- 市町村では、県の「市町村避難所運営マニュアル作成基本モデル」をもとにマニュアルを作成し、避難所を運営している。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、感染症対策を踏まえた避難所運営を行っていく必要がある。

## 2 県の取組内容

### （1）感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアル作成支援

令和2年9月に「市町村避難所運営マニュアル作成基本モデル」に感染症対策を追加した。令和3年9月には、感染症の専門家（医師）からの意見を聴取し、パーテーションやテープによる区画表示を行う避難所レイアウト例を盛り込んだ。

こうした取組により、県内の全ての市町村において、感染症対策を踏まえたマニュアルが作成済となっている。

### （2）感染症対策用品の確保

市町村におけるマスクや消毒液、パーテーションなどの感染症対策物品については、地方創生臨時交付金の活用により確保することを促すとともに、県においても一定数を備蓄している。（マスク：123,000枚、消毒液：800本、パーテーション：500張）

#### 【市町村の感染症対策用品の確保状況】

	マスク	消毒液	パーテーション
市町村	2,106,379枚	521,988本	18,633張

- ・上記以外に、使い捨て手袋、非接触型体温計、フェイスシールド、長袖ガウン、エプロン、段ボールベッドを備蓄。

### （3）市町村と連携した訓練の実施

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の開設・運営訓練を市町村と連携して実施するとともに、訓練後は、災害対応勉強会等により他の市町村に事例を紹介し、訓練の成果や課題を共有している。

## 【調査・検討を行う分野】防災（避難所）

### 【訓練の実施状況】

ア 市町村 常陸大宮市（令和2年7月）  
坂東市（令和2年10月）  
常陸太田市、常陸大宮市（令和3年7月）  
筑西市（令和4年7月）

イ 訓練種目 ・避難所レイアウトの確認  
・受付時の避難者の検温や体調チェックの確認  
・体調不良者等の受入方法確認

※令和2年度以降の災害時に開設された全ての避難所において、避難者の検温や体調チェック、消毒液の設置、十分な避難スペースの確保等の感染症対策が実施されたことを確認している。

### 【新型コロナウイルスの感染拡大以降の県内での避難所開設数・避難者数】

年度	令和2年度	令和3年度
避難所開設数	3市町 計13箇所	10市町 計56箇所
避難者数	98人	108人

#### （4）宿泊施設等の提供に関する協定の締結

新型コロナウイルス感染症への対応のため、通常の災害時よりも可能な限り多くの避難所を確保するよう国から推奨されており、県内のホテルや旅館を避難所として活用できるよう、令和2年9月に茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合との協定を締結した。

### 3 今後の方策

- 災害発生時などにおいて、その都度、感染症対策を徹底した避難所運営を市町村に働きかけていく。
- 引き続き、市町村と連携して感染症対策を踏まえた避難所開設・運営訓練を実施していく。